

自然を壊さず楽しむ浮床コテージを開発

「蝶々のようにそつと地面に降り立ち、飛び立った後には何も残さない」そんな建築を作りたいと語る代表の下平氏。思いを形にした浮床モバイルコテージ「ゼロポッド」を開発した。

自然にインパクトを与えない建築を作りたい

昔、地元である葉山の海岸に遊歩道を作る計画が立ち上がったことがあります。その時、建築が自然を破壊するという点について改めて考えました。遊歩道を建築するには海岸をブルドーザーでならしてコンクリートを流し込まなければなりません。そうして一度壊してしまった自然は元には戻せません。人々の生活は便利になるけど、失うものもすごく大きいわけです。

蝶々が舞い降りて飛び立った後には何も残さないように、建物もそつと地面に舞い降りて、立ち去った後に何も痕跡を残さない、そういう建築ができないかなと考えました。そつと建てることできて、ぱつと無くなる。人間も快適に使えて、かつ自然に対してインパクトを与えない建築を作りたい。私はこれを「ゼロインパクト建築」と呼んでいるんですが、それを目指して取り組んできた一つの形が、補助金で試作開発を行った浮床モバイルコテージ「ゼロポッド」になります。

ものづくり補助金を活用して行ったこと

人間の重さを支えるには、ふつうは木材の柱や梁、厚い板などが必要です。人ひとり乗せる椅子を作るのでも、材料はかなりの重さになります。それらをどうやって持ち運びができる軽さ・大きさにするかがゼロポッド開発の一番の課題でした。

補助金により、設計は2Dから3Dで行うプロセスに変えることができました。また、3Dプリンタと切削加工機を導入したことで、今まで外注に出していた試作部品が社内で作作できるようになりました。そのおかげで設計した部品一つ一つが短時間で出来上がるようになり、試作開発がスピーディーに行えるように。設計工程で3日から半日、製造工程で1〜2週間かかっていたのが今では半日程度となりました。クリエイティブな活動をするうえで非常に良い環境が得られたと思います。設備やシステムを使いこなせるようになるには時間がかかりましたが、それだけの価値はあります。

事業テーマ

世界初の浮床モバイルコテージにより「自然公園活用促進・自然保護・災害対策」を同時実現



▲内部はゆったりと広く、浮床のため砂浜の熱も感じず快適（写真左上）／組み立て後のゼロポッド、海の家VIPルームとして活躍（写真左下）／折り畳み時はゴルフバッグ程度の大きさで持ち運びが可能（写真右）

した。また、補助金申請にチャレンジするために、初めて自分で事業計画を書いてみました。予算やスケジュールなどが明確になったことも良かったです。

今後の課題と目標について

今、一番の課題が製品単価の高さです。現在は個別受注生産しかできないため単価が百万円以上になってしまっているところを、量産することで数十万程度の価格まで下げたいと考えています。量産した製品をどのような方法で売っていくかについては、ビーチ一面に「ゼロポッド」を並べたアウトドアのイベントなどのプロモーションから始めたいと考えています。アウトドアメーカーやハウスメーカーと組んで、イベントを企画したり、販売力を借りたり、量産体制を構築できたら理想的です。私は一点物をデザインしたり設計・施工することは得意なのですが、製品をたくさん作って売るといった経験がないので、販売促進などのノウハウがある企業と協力できればと思っています。

ゼロポッドは自然の中で使われることを想定しています。例えば葉山の海岸も、海の家シーズンが終わると、風景を楽しむ人が訪れてきても、休むところや食べる場所などが無く、訪れて帰るだけになってしまっています。そういったところにゼロポッドを置いて近くの飲食店からケータリングしてもらえば、自然の中にレストランを開くことができます。

これまでの自然との接し方は、スキー場やゴルフ場の開発など、自然と遊ぶこと＝自然破壊となってしまうていましたが、ゼロポッドを通じて自然と共生しながら人々が楽しめる環境作りが実現できます。自然が多く残っているところは人の手が入っていないところ、つまり人の生活と離れたところなので、その自然が壊されたり汚されたりすることにはあまり関心が持たれません。ゼロポッドがきっかけとなって自然を壊さずに自然を楽しむことができることを知ってもらい、自然を守ろうとする意識が広まってくれるといいと思います。



▲ものづくり補助金で導入した設備の切削加工機

事業者名

株式会社MARIO DEL MARE 一級建築士事務所

Company Profile 企業概要



▲代表の下平 万里夫氏

代表の下平万里夫氏はイタリア国ローマ市生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業後、大手ゼネコン会社デザインセンターに設計技師として勤務したのち、1998年に湘南葉山にて独立開業。自然を壊さず、立った場所に何の痕跡も残さない「ゼロインパクト建築」をテーマに、世界初の浮床モバイルコテージ「ゼロポッド」を設計・開発。平成28年夏に逗子海岸で海の家とタイアップして海水浴客相手に製品テストを実施した。今後は普及のため、ゼロポッドのファンを集めたアウトドアイベントなどのサービスを企画している。

代表者名 下平 万里夫

設立年月日 1998年

所在地 〒249-0006

神奈川県逗子市逗子7-1-51 ナニワビル3F

従業員数 1名

資本金 500万円

Tel. 046-874-7560

Fax. 046-874-7561

http://www.mariodelmare.com/

Examiner's Eye 調査員考察

自身の建築家としての理念から「自然を壊さない建築」という環境面で意義のある開発に取り組んだ。補助金により設計・製造工程の設備投資を行い作業の効率化、内製化を図り、開発のスピードとコストが改善された。試作品は価格競争力に課題があるが、量産・販売促進を他社と連携することで事業化を目指している事例である。